

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表  
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和6年2月20日  
北陸信越運輸局

評価対象事業名:地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における二次評価結果
			③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果
長野市公共交通活性化・再生協議会	長野市	中条線 中条支所～ 中条地区～ 中条支所	支所、地区役員等に利用状況等を共有するとともに、現状の運行方法、運行経路、運行便数の適切性について検討を行った。 地域住民の利便性を高め、より効率的なバス運行が必要となっていることから、オンデマンド交通システム導入に向けた検討を行い、チラシの配布などと合わせ利用促進を依頼した。 また、新型コロナウイルス感染症への対応は、引き続き感染拡大防止に尽力した。	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された	C 令和6年度までに1,700人以上確保する目標に対し、令和5年度実績は1,058人であった。 達成できなかった理由として、当該地区の人口がさらに減少したことが影響している。 引き続き、路線維持等を目的とした周知を図る。	地区人口の減少に伴い利用者も減少している。地域住民の利便性を向上させるため、令和6年4月からオンデマンド交通システムを導入し運行日数及び運行時間を増やし利用促進を図る。	協議会における事業評価結果の③から⑥までについては自己評価のとおりであり、実績向上に向けて具体的な改善策について引き続き検討し、その実施について地域一体となって適切に進めていくとともに、今後も適切な検証を行い、地域公共交通のさらなる持続性向上や利用促進が図られるよう期待する。

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表  
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和6年2月20日  
北陸信越運輸局

評価対象事業名:地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における二次評価結果
			③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果
長野市公共交通活性化・再生協議会	アルピコタクシー株式会社	篠ノ井共和線 川中島駅～Aコープ・篠ノ井店～篠ノ井病院前	利用状況等を説明するとともに、路線の移動実態を地区役員等と共有した。支所、地区役員等と協議を行い、現状の運行方法、運行経路、運行便数の適切性について検討し、運行時刻の見直しを行った。運行時刻を見直した際にチラシの配布など利用促進を依頼した。また、新型コロナウイルス感染症への対応は、引き続き感染拡大防止に尽力した。	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された	C 令和6年度までに1,600人以上確保する目標に対し、令和5年度実績は1,500人であった。達成できなかった理由として、沿線人口の減少が大きく影響していると考えられるが、昨年度よりも利用者が約200人増えていることから運行時刻見直しの効果が現れてきていると考えられる。	本年度は利用者が若干増加した。今後も路線を維持できるよう利用状況を注視しながら、当該路線の移動実態を把握し、必要に応じて適切な運行時刻の見直しを図る。また、移動実態の状況を路線沿線住民と共有する。引き続き沿線地区役員や事業者と連携し、目標値を達成できるよう利用促進を図る。	協議会における事業評価結果の③から⑥までについては自己評価のとおりであり、実績向上に向けて具体的な改善策について引き続き検討し、その実施について地域一体となって適切に進めていくとともに、今後も適切な検証を行い、地域公共交通のさらなる持続性向上や利用促進が図られるよう期待する。

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表  
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和6年2月20日  
北陸信越運輸局

評価対象事業名:地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における二次評価結果
			③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果
長野市公共交通活性化・再生協議会	アルピコタクシー株式会社	安茂里線 安茂里駅～安茂里支所～長野ターミナル	支所、地区役員等に利用状況等を説明するとともに、路線の移動実態を地区役員等と共有した。今後も多くの方に利用してもらうため、チラシの配布などの利用促進を依頼した。また、新型コロナウイルス感染症への対応は、引き続き感染拡大防止に尽力した。	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された	C 令和6年度までに3,500人以上確保する目標に対し、令和5年度実績は3,118人であった。達成できなかった理由として、沿線人口の減少が大きく影響していると考えられる。	本年度は利用者が減少した。今後さらに利用者の移動利便性を高めるために、当該路線の移動実態を把握し、必要に応じて適切な運行時刻の見直しを図る。引き続き利用者を増加させ目標を達成できるように、地区役員等と連携しながら利用促進を図る。	協議会における事業評価結果の③から⑥までについては自己評価のとおりであり、実績向上に向けて具体的な改善策について引き続き検討し、その実施について地域一体となって適切に進めていくとともに、今後も適切な検証を行い、地域公共交通のさらなる持続性向上や利用促進が図られるよう期待する。

地域公共交通確保維持改善事業(新モビリティサービス推進事業)・事業評価総括表

令和6年2月20日  
北陸信越運輸局

評価対象事業名：地域交通キャッシュレス決済導入支援事業

①補助対象事業者	②事業概要	補助事業者における事業評価結果			地方運輸局等における二次評価結果	備考
		③事業実施の適切性	④目標・効果の達成状況	⑤事業の今後の改善点	評価結果	
長野市公共交通活性化・再生協議会	<p>長野市、須坂市、飯綱町、高山村、小川村を運行する一般路線バス、乗合タクシー、市町村営バスに、JR東日本がSuicaをベースに開発した地域連携ICカードシステムを導入</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域連携ICカードを手掛けるベンダーと契約を締結し、要件定義、システム構築を行っている</li> <li>・関係各社との調整を進めている</li> </ul>	<p>A</p> <p>事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施されている。</p> <p>契約の締結が計画より遅れたものの、概ね計画のとおり進捗している</p>	<p>A</p> <p>関係各社との調整は順調に進んでおり、予定通り完了の見込み</p>	<p>令和7年春の導入に向け、IC車載器の製造・取付け、ネットワークの構築を行うとともに、新サービスの導入に向けた広報を実施する</p>	<p>事業評価結果の③から⑤までについては自己評価のとおりである。具体的な改善策の実施について地域一体となって適切に進めていくとともに、今後も適切な検証を行い、地域公共交通のさらなる持続性向上や利用促進が図られるよう期待する。</p>	